



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月31日

上場会社名 日本化薬株式会社

上場取引所

東

コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 グループ経理本部長 (氏名) 渋谷 朋夫 (TEL) 03-6731-5842

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	42,490	3.9	5,373	△13.8	6,295	△4.2	4,441	△1.9
2018年3月期第1四半期	40,880	4.9	6,233	26.2	6,570	88.0	4,527	88.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 4,791百万円(△38.1%) 2018年3月期第1四半期 7,745百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	25.65	25.64
2018年3月期第1四半期	26.14	26.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	288,345	222,689	72.9
2018年3月期	285,453	220,602	73.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 210,136百万円 2018年3月期 208,315百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	15.00	ー	15.00	30.00
2019年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2019年3月期(予想)	ー	15.00	ー	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,500	1.4	8,000	△33.0	8,400	△30.6	5,500	△35.9	31.77
通期	178,000	6.0	19,000	△16.0	19,500	△13.2	13,500	△12.7	77.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期1Q	182,503,570株	2018年3月期	182,503,570株
2019年3月期1Q	9,357,861株	2018年3月期	9,357,742株
2019年3月期1Q	173,145,728株	2018年3月期1Q	173,155,640株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）の世界経済は、総じて緩やかな回復基調が続きました。米国では設備投資や個人消費が堅調に推移し、欧州では政治情勢を巡る先行き不透明感があるものの、個人消費が底堅く推移する等緩やかな回復が持続しました。中国では工業生産や輸入が拡大する等底堅い成長が続きました。日本経済は、個人消費や設備投資等の内需が堅調に推移しており、緩やかな回復基調にありました。

このような状況の中、当社グループは2016年度よりスタートさせました中期事業計画“*Take a New Step 2016*”の最終年度にあたり、引き続き重点テーマと中長期重点課題に取り組み、研究開発の強化、重点事業への経営資源の最適配分、海外事業の拡大に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、医薬事業が前年同四半期を下回ったものの、機能化学品事業、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回ったことにより424億9千万円となり、前年同四半期に比べ16億9百万円（3.9%）増加しました。

営業利益は、医薬事業の薬価改定の影響等により53億7千3百万円となり、前年同四半期に比べ8億5千9百万円（13.8%）減少しました。

経常利益は、62億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ2億7千4百万円（4.2%）減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、44億4千1百万円となり、前年同四半期に比べ8千5百万円（1.9%）減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

**【機能化学品事業】**

売上高は171億4千4百万円となり、前年同四半期に比べ7億2千4百万円（4.4%）増加しました。

機能性材料事業は、国内・海外向け半導体封止材用エポキシ樹脂が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、産業用途のインクジェットプリンタ用色素が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

触媒事業は、国内向けが堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

ポラテクノグループは、染料系偏光フィルム及び無機偏光板ProFluxが低調で前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は20億3百万円となり、前年同四半期に比べ1億4千9百万円（6.9%）減少しました。

**【医薬事業】**

売上高は114億7千4百万円となり、前年同四半期に比べ7億2千5百万円（5.9%）減少しました。

国内向け製剤は、バイオシミラーの「インフリキシマブBS点滴静注用」（抗体薬）、新製品の「テモゾロミド錠」（抗がん薬）が伸長しました。国内向け製剤全体では、がん関連ジェネリック医薬品、長期収載品等が薬価改定等の影響を受け、前年同四半期を下回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん薬）が前年同四半期を上回ったものの、エトポシド類（抗がん薬）、高薬理活性原薬が前年同四半期を下回り、輸出全体では前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬、受託事業は、前年同四半期を上回りました。

診断薬は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は10億4千万円となり、前年同四半期に比べ9億3千万円（47.2%）減少しました。

**【セイフティシステムズ事業】**

売上高は117億5千7百万円となり、前年同四半期に比べ13億3千6百万円(12.8%)増加しました。

国内事業は堅調に推移し、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターともに前年同四半期を上回りました。

海外事業は、北米・欧州市場に加え、中国を始めとする新興国市場も堅調に推移し、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター及びスクイブは前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は20億1千9百万円となり、前年同四半期に比べ1億8千4百万円(10.1%)増加しました。

**【その他】**

売上高は21億1千3百万円となり、前年同四半期に比べ2億7千4百万円(14.9%)増加しました。

アグロ事業は、国内、輸出ともに前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は3億5千2百万円となり、前年同四半期に比べ1千2百万円(3.4%)減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,883億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億9千1百万円増加しました。主な増加はたな卸資産24億1千7百万円、投資有価証券15億4百万円、有価証券4億3千9百万円であり、主な減少は前渡金17億5千9百万円(流動資産その他に含む)であります。

負債は656億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4百万円増加しました。主な増加は短期借入金17億8千3百万円、支払手形及び買掛金8億7千8百万円であり、主な減少は長期借入金10億6千9百万円、未払金8億7千9百万円であります。

純資産は2,226億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億8千6百万円増加しました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益44億4千1百万円、その他有価証券評価差額金9億4千8百万円であり、主な減少は配当金の支払25億9千7百万円、為替換算調整勘定10億5千6百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国や欧州では引き続き堅調に推移することが期待されるものの、通商問題の影響や政治情勢を巡る先行き不透明感の高まり等により景気の下振れが懸念されます。日本経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界経済の下振れの影響に留意する必要があります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、2019年3月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,411	42,067
受取手形及び売掛金	53,313	53,596
電子記録債権	1,762	1,936
有価証券	8,584	9,024
商品及び製品	25,574	26,780
仕掛品	1,933	2,082
原材料及び貯蔵品	18,782	19,845
その他	5,487	3,746
貸倒引当金	△34	△34
流動資産合計	157,814	159,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,124	39,413
機械装置及び運搬具（純額）	25,090	24,697
その他（純額）	19,014	19,284
有形固定資産合計	83,228	83,394
無形固定資産		
のれん	1,673	1,651
その他	1,763	1,782
無形固定資産合計	3,436	3,433
投資その他の資産		
投資有価証券	34,645	36,150
退職給付に係る資産	3,247	3,284
その他	3,051	3,015
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	40,915	42,422
固定資産合計	127,581	129,250
繰延資産	58	48
資産合計	285,453	288,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,236	17,115
短期借入金	6,714	8,498
未払金	10,568	9,689
未払法人税等	1,334	779
その他	7,891	7,783
流動負債合計	42,746	43,866
固定負債		
長期借入金	7,577	6,507
退職給付に係る負債	496	495
その他	14,030	14,786
固定負債合計	22,104	21,789
負債合計	64,851	65,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,596	17,598
利益剰余金	172,460	174,305
自己株式	△10,489	△10,489
株主資本合計	194,501	196,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,730	12,678
為替換算調整勘定	2,249	1,192
退職給付に係る調整累計額	△165	△81
その他の包括利益累計額合計	13,814	13,789
非支配株主持分	12,287	12,552
純資産合計	220,602	222,689
負債純資産合計	285,453	288,345

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	40,880	42,490
売上原価	24,272	26,767
売上総利益	16,608	15,722
販売費及び一般管理費	10,374	10,349
営業利益	6,233	5,373
営業外収益		
受取利息	15	34
受取配当金	345	350
持分法による投資利益	131	81
為替差益	—	509
その他	171	115
営業外収益合計	664	1,091
営業外費用		
支払利息	48	68
為替差損	171	—
その他	107	101
営業外費用合計	327	169
経常利益	6,570	6,295
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産処分損	49	89
特別損失合計	49	89
税金等調整前四半期純利益	6,521	6,208
法人税、住民税及び事業税	1,252	1,027
法人税等調整額	540	444
法人税等合計	1,793	1,472
四半期純利益	4,728	4,735
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	293
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,527	4,441

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	4,728	4,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	675	949
為替換算調整勘定	2,198	△978
退職給付に係る調整額	141	86
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	3,017	55
四半期包括利益	7,745	4,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,505	4,417
非支配株主に係る四半期包括利益	240	374

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,419	12,200	10,421	39,041	1,839	40,880	—	40,880
セグメント間の内部売上 高又は振替高	47	0	0	47	27	74	△74	—
計	16,466	12,200	10,421	39,088	1,866	40,955	△74	40,880
セグメント利益	2,152	1,971	1,834	5,958	364	6,323	△89	6,233

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△89百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△92百万円、セグメント間取引消去2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,144	11,474	11,757	40,376	2,113	42,490	—	42,490
セグメント間の内部売上 高又は振替高	45	0	—	45	28	73	△73	—
計	17,189	11,474	11,757	40,422	2,141	42,564	△73	42,490
セグメント利益	2,003	1,040	2,019	5,063	352	5,415	△42	5,373

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△42百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△111百万円、セグメント間取引消去69百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。